

# 業務部速報



No. 18

発行 22. 9. 22

JR東労組 業務部

幹本申第1号

**北上新幹線保線技術センターにおける組合員への事前通知を撤回し、労使の確認事項を遵守し、議論経過を踏まえた運用への是正を求める**

申し入れ日:2022年9月21日

**緊急申し入れ 提出!!**

9月16日、北上新幹線保線技術センターの組合員に対し、一切の意識付け・コミュニケーションもなく、突如10月1日付での異動の事前通知が言い渡される、前代未聞と言える事象が発生しました。当該組合員はこの事前通知に対し到底納得できず、現場長に「他の社員は事前の打診があるにも関わらず、事前通知書を渡されるまで相談がなかったのは差別を感じる。何か理由があるのか」と質問すると、現場長は「14日前なら異動の準備ができる。差別に感じるのは勝手」と述べるなど、真摯に向き合うとは程遠い対応を受けています。

この間、JR東労組は異動に関する諸課題について、その都度労使議論を行ってきました。「新たなジョブローテーションの実施について」本部—本社間の議論では、「ジョブローテーションの趣旨は全系統に通ずるもの」「キャリアステップについても大事な観点である」ことなど、労使で認識を一致してきました。また、盛岡地本—支社間においても、納得感を得ることの必要性や、事前通知書をいきなり渡すのは丁寧ではない、具体的には事前通知を出す前にコミュニケーションをとる中で話をしていくなど、労使で一致を図り組合員と共に施策に向き合ってきました。

今回の事象はこのような、労使の確認事項や議論経過から逸脱し、慣行・慣例的に行っていたコミュニケーションの否定とも言える事象であり、**本人の希望や生活設計・実態などを事前に把握することなく、会社の指示には黙って従えとの傲慢で官僚的な姿勢であると受け止めざるを得ず、JR東労組として、今回の事象は個別の問題に留めることはできない問題であると受け止めています。**

したがって、下記のとおり緊急に申し入れますので、速やかに団体交渉を開催し、会社側の真摯な回答を要請します。

**怒**

1. 北上新幹線保線技術センターにおいて、一切の意識付け・コミュニケーションを行うことなく、事前通知を行った理由を明らかにすること。
2. 本人の希望や生活設計・実態の把握などのコミュニケーションも図られず、事前通知を受けた組合員の将来や今後の生活など、どのように考えているのか明らかにすること。
3. 北上新幹線保線技術センターにおいて、社員の希望や生活設計・実態も顧みず、一切の意識付け・コミュニケーションを行うことなく発令した事前通知を撤回し、今事象に対し、信義誠実の原則に従い、真摯に向き合い是正すること。

**異常な人事異動を許さず、仲間と共にたたかおう**